

第2回高専 防災減災 コンテスト

最終審査会

高専防災減災コンテストは、防災減災に関わる社会課題を解決する技術のアイデアとその検証過程を競う機会を提供し、活動を通じた高専生の成長の促進と若い力による社会の災害レジリエンス向上に寄与することを目的とした取り組みです。書類審査を通過した10チームが、試作、実験、ステークホルダーからのヒアリングなどを通して自らのアイデアについて検証を行いました。最終審査会では、各チームが地域の防災力・減災力向上に向けて取り組んだ検証活動の成果を発表し、審査が行われて文部科学大臣賞など各賞の表彰が行われます。ぜひご来場いただき、高専生が抱く防災への熱き思いを感じ、高専生に応援をお願いします。

2024.2.29 (木)

開催時間 | 13:00-17:20

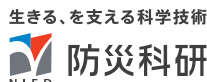
会場 | 防災科学技術研究所 和達記念ホール (茨城県つくば市天王台3-1)

アイデア検証進出チーム

- 1 和歌山工業高等専門学校
Sustainable Education of Disaster Prevention～地元の祭りとのコラボレーション～
- 2 和歌山工業高等専門学校
ロボット先生をプログラミングで動かして学ぶ防災学習
- 3 木更津工業高等専門学校
小口径塩ビ継手の漏水に対する不断水補修具の試作開発ー南房総地域の社会的損失の止水を目指して
- 4 沼津工業高等専門学校
高専間防災ネットワークを諦めない!～沼津高専×産学官民連携による防災減災用教材を全国へ～
- 5 高知工業高等専門学校
免震建物に設置してあるけがき式変位計の経時(時間)特性を補正する加速度センサーマイコンボードの開発
- 6 奈良工業高等専門学校
ハマルガード
- 7 石川工業高等専門学校
「あっ見つけた!まちなかハザード標識」
- 8 福井工業高等専門学校
体感型 逃げ地図 (安全な避難経路)
- 9 福井工業高等専門学校
日常生活から考える女性視点の災害対策「フェーズフリー防災」
- 10 大分工業高等専門学校
救助活動を補助する情報伝達ドローン

参加無料

申込QRコード



【主催】独立行政法人国立高等専門学校機構、国立研究開発法人防災科学技術研究所、公益社団法人国際科学振興財団
【後援】文部科学省、一般社団法人全国高等専門学校連合会、日本放送協会(NHK)

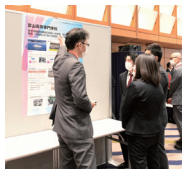
お問合せ

国立研究開発法人防災科学技術研究所
高専防災減災コンテスト事務局

info-kosencon@bosai.go.jp

最終審査会プログラム

- 13:00～ 開会・主催者挨拶・コンテスト趣旨説明
13:10～ 各高専チームからのプレゼンテーション
- 1 和歌山工業高等専門学校(和歌山県)
Sustainable Education of Disaster Prevention
～地元の祭りとのコラボレーション～
 - 2 和歌山工業高等専門学校(和歌山県)
ロボット先生をプログラミングで動かして学ぶ防災学習
 - 3 木更津工業高等専門学校(千葉県)
小口径塩ビ継手の漏水に対する不断水補修具の試作
開発 ー 南房総地域の社会的損失の止水を目指して
 - 4 沼津工業高等専門学校(静岡県)
高専間防災ネットワークを諦めない! ～沼津高専×
産学官民連携による防災減災用教材を全国へ～
 - 5 高知工業高等専門学校(高知県)
免震建物に設置してあるけがき式変位計の経時(時間)
特性を補充する加速度センサーマイコンボードの開発
- 14:25～ 休憩
14:40～
- 6 奈良工業高等専門学校(奈良県)
ハマルガード
 - 7 石川工業高等専門学校(石川県)
『あっ見つけた!まちなかハザード標識』
 - 8 福井工業高等専門学校(福井県)
体感型 逃げ地図(安全な避難経路)
 - 9 福井工業高等専門学校(福井県)
日常生活から考える女性視点の災害対策
『フェーズフリー防災』
 - 10 大分工業高等専門学校(大分県)
救助活動を補助する情報伝達ドローン
- 15:55～ ポスターセッション
16:35～ 表彰式・講評・閉会



高専防災減災コンテストについて

高専防災減災コンテストでは、防災減災に関わる社会課題を解決する技術のアイデアとその検証過程を競います。全国の高専から27チームの応募があり、最終審査会では、その中から書類審査を通過したファイナリストの10チームが、試作、実験、ステークホルダーへのインタビューなどを通して、自ら提案したアイデアについて検証を行った成果を動画にまとめ、発表を行います。アイデア検証の期間には、防災科研の研究者や関係する機関から参加したメンターが、各チームの取り組みに寄り添いながらアドバイスするなど伴走支援をしています。表彰は、最優秀賞の位置付けの「文部科学大臣賞」、主催者から「高専機構賞」「防災科研賞」「国際科学振興財団賞」そして後援いただいているNHKから「NHK会長賞」が贈られます。実際の現場でのステークホルダーへのインタビューなどを通じて、高専生は成長し、各チームのアイデアが磨かれて変化していきました。ぜひ、その点に注目しながらご覧ください。

メンター活動について

メンターとはコンテストに参加される高専生に対して、問題解決をサポートする防災の専門家です。防災科研をはじめとする研究者達が経験と知識をもとに、各チームが取り組む課題に対するアドバイスとして、過去事例やステークホルダーの紹介などを行います。しかしながら、高専生のアイデアは非常に独創的で先進的なものばかりですので、メンターもタジタジです。アドバイスをするというよりも共に考える。むしろ、新たな着想を学ばせていただいております。普段はなかなか得られない交流を楽しんでいます。高専生ならではの新しい防災減災アイデアは、メンター自身の活動にも刺激となっています。

(防災科研 客員研究員 阿部 直樹)

第1回高専防災減災コンテスト最終審査会

第1回高専防災減災コンテスト 最終審査会は、2023年3月6日、東京国際フォーラム ホールB5において開催しました。参加した10チームは緊張しながらも個性豊かなプレゼンテーションを実施。ポスターセッションでは、参加者や他の高専チームと交流を深めました。



文部科学大臣賞 受賞校の紹介 和歌山工業高等専門学校 | タイトル | 防災学習砂場の開発

企画概要 和歌山県は、山が陸地の多くを占めている。そのため、災害の中でも、大雨などによる土砂災害についての理解が必要である。しかし、土砂災害を学ぶための教材は数少なく、学習の定着も難しい。この企画では、プロジェクトマッピングが行える砂場で、能動的に谷や急傾斜地等の地形のイメージを理解できる装置を開発した。この装置を利用することで、小学生にとって分かり難いとされる等高線の学習や、がけ崩れ、地すべり、土石流が起こりやすい地形やハザードマップの学習を支援し、土砂災害についての学習の動機付けや知的好奇心の刺激につながる事が期待できる。

受賞コメント 本当にがんばったので、本当にうれしいです。ステークホルダーの皆様、メンターの皆様、ありがとうございました。また初めてテレビ取材を受ける経験や、動画づくり、プログラミングなど本当に初めての経験ばかりで大きな成長ができたコンテストでした。本当にありがとうございました。

